

ろうさん彩登

サイ ト

埼玉県勤労者山岳連盟

 機関紙：発行責任者 武笠真次
 編集 小松勝浩

 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-1-5ふじビル2階
 TEL・FAX 048-838-0640

<http://www.tozans.justhpb.jp/>

県連の動き

委員会活動報告

全国連盟活動

2/15-16 全国31回総会 武笠 木村 佐藤 加納 57名出席+14委任状=71名、議案ほぼ可決。個人会員制について。

会員数現161名で少数のため賛否両論だが次年度継続。

個人会員制規約改定案については否決。新特別基金 無事故報奨金制度の設置について。

全国理事長 浦添嘉徳氏（新）

埼玉より全国理事 大澤、伊藤、柴山、久保（新）

2/18 新特別基金委員会（欠）氷ノ山の事故。

県連全体活動

栄誉功労章 小松、水谷。永年会員章 上福岡山なみ 石川、岩田、古賀、菅野、竹内、目崎。秩父アルペン 今岡。三郷 上田。

3/23 総会にて授与予定。海外委員会の集会を理事全員で（次年度）やりたい。

事務局

総会議案書 各専門委員会は早急に提出。

機関紙

2/12日（水）発行 次月3/12日 原稿投稿は早めに。

財政

委員会、ブロック等新年度予算確認。機関紙6、HP6、女性6、ハイキング6、自然保護5、海外3、遭難防止・安全5、救助隊20、登山学校15、岩ネット5、山スキー1、沢ネット1、西部B7、南B4 中部B3、北部B3、県連会計報告に特別枠を作成。

2/16日アングルクライム 2名 脱退。受理。

今年度の委員会等の会計報告（2月㍻）早急に領収書付けて提出。

理事12名後期交通費支払い済。

10号目次

P1：県連の動き

P3：登山学校「閉校式」報告

P4：西部ブロック「交流ハイク」参加報告

P5：第19期登山学校募集パンフ

第47期定期総会開催のお知らせ

2014年度の活動方針などを討議し皆様とともに労山運動を進める為の定期総会を下記のとおり開催いたします。

日時：3月23日（日）13:00受付閉会16時30分

場所：高鼻コミュニティセンター

議題

- ・第46期活動報告、第47期活動方針提案
- ・第46期会計決算、監査報告／第47期予算案提案
- ・第47期役員選出
- ・「みんなで参加する県連活動」の提案

ホームページ

石巻災害支援の募集。47期総会のお知らせ。登山学校19期募集。山スキーネットの募集。岩ネット。委員会日程の連絡。

女 性

「あなたツエルトが張れますか」2/2日(日)講師、救助隊長 柴山氏。24名参加+救助隊9+女性8。 委員会有志 ハイキング3/6予定。 全国より3/9餅つき 高尾景信山 直接申し込み。

ハイキング

ハイキング講習会 「天気の見方」26/1/26(日)猪熊隆之氏
15団体他 59名参加。
ハイキング委員会2/26日。
全国ハイキング委員会 2/28。

自然保護

災害支援予定3-14 p m~3/16ㄨ切 新座8、秩父5、三郷4、ビスター3、他28名+2(運転手)=30名

登山学校

19期の受講生募集中 各会への参加呼び掛けの要請
次回運営委員会3月31日 19期カリキュラム作成中
5月17日開校式予定

救 助 隊

2/22-23 関ブロ深雪搬出訓練 54名 (埼玉5名)
千葉のラジコンヘリによる搜索デモ。
ビーコンを使った搬出訓練。ヒトココ(遭難搜索装置)説明して訓練。

岩ネット

2/15 雪のため中止。次回3/15 日和田山

山スキーネット

3/9日 新潟 神楽峯 ~雁ヶ峰にて実施

海 外

キリマンジャロ (新座)

ブロック活動報告

西部=ブロック会議 2/13。2/23 玉原スノーシューハイク 54名。
南部=ブロック会議 2/18。3/8-3/9一ノ倉沢スノーシューハイク、白毛門ハイク、雪洞他体験。三郷8、わらび5、彩2(土合山の家泊)。
中部=ブロック会議 3/5 3/15~16雪山交流山行(平標山)
北部=ブロック会議 2/26

関東=役員交流会 9/6-7
自然保護交流会 10/25-26 神奈川
救助隊 主管 神奈川

加盟団体活動報告

加盟団体の総会予定
総会 4/7救助隊。3/30峠、4/6やまなみ、4/6新座。4/13三郷。

登山学校

第18期登山学校閉校式 2014.02.08 (土) カルタスホール

2013年5月から始まった18期登山学校も無事閉校式を終えました。

2月8日大雪にもかかわらず受講生24名運営委員11名計35名の参加で北浦和のカルタスホールにて閉校式が行われました。

閉校式は校長武笠県連理事長の挨拶から始まり、スライドを見ながら駒崎登山学校事務局長の年間講座総評が行われ受講者には修了書の授与が行われました。

その後の懇親会（茶話会）では、受講者からの感想発表等があり思い出話で盛り上がりました。今後は、この8回の講座を通して学んだ基礎知識を生かして安全に山登りを楽しんでいただきたいと思います。またこの学校で出会った山仲間を大切に山登りを続けていってください。

18期の登山学校では宿泊体験の特別講座を開催したり総合講座に実際の山の斜面を利用したの懸垂下降練習を組み込んだり新しい試みをしましたがおおむね好評でしたので来期にも取り入れたいと思います。

運営委員も18期は11名でスタートしましたが19期は運営強化を図るため14名体制でスタートしますのでより良い学校にしていけるとと思います。ぜひ各会担当の方は新入会員に登山学校の受講をおすすめ下さい。ここ数年は年間受講者で定員になってしまいスポット受講の申込みを受けられない状況が続いていますのでぜひ年間受講をお勧め下さい。

19期も机上講座の会場は北浦和のカルタスホールで基本的には行いますが会場予約が抽選のため確保出来ないときは、さいたま市内の他の施設に変更される場合があります。

19期のカリキュラム詳細はろうさん彩登12号に掲載致します。よろしくお願いたします。



ブロック活動報告

西部ブロック (2014/2/23) 玉原高原スノーシューハイク参加報告

新座山の会 森 典子 記

寒いのが苦手な、この時期は冬眠と決め込んでいたのだが、西部ブロックの会計担当で参加しない訳にはいかず、1月の鈴ヶ岳参加、その前に丹沢の大山でアイゼンを着けての歩行の練習と前向きに準備した甲斐あり、楽しむことが出来た。2001年1月に初めて玉原のブナ林でスノーシューを経験し、その後、入笠山でやって以来だったが、天候にも恵まれ、気温もあまり低くなかったのが何よりだった。鹿俣山登山口からブナ林へ入り、ほんの少しの登りはあったが、リフトの最終地点から10分ほど歩いた所から、スキー場に沿って下ること40分で林道到着。行きに渋滞したので、帰りの温泉入浴はパスし、先輩の男性がよく来ていたというなめこセンターに寄り、無料のみそ汁を頂き、椎茸やエリンギなどを買い求め車中へ戻る。帰りは順調にふじみ野駅に着いた。



新座山の会 川井イチ子 記

西部ブロック企画のスノーシューに参加するのはこれで3回目、3回とも玉原高原です。でも大好きな場所なので飽きません。同じところを歩いているのですが、いつも新鮮な気分です。スノーシューは大好きです。参加者もだんだん増え、今回は50名近くと聞きました。凄いですね。野生動物の足跡や熊棚、熊の爪痕、幹割れの木、鳥の声、物知りの人がいろいろ教えてくれるのでとても楽しい。そして、みんなも楽しそう……。ブナ林を歩きながら探検するのはとても面白い、楽しい。眼下には群馬の山と街が広がり、上州武尊山は白銀で光り、冬ならではの景色にうっとりでした。個人的にはなかなか行けないスノーシュー、このような機会に参加できるのがとても楽しみになりました。

来年は何処かな？

新座山の会 安田 秋雄 記

群馬県の玉原高原に西部ブロックの交流スノーシューハイクへ参加、雪が無くては困るのだが降りすぎにより高速道路の除雪が出来ず赤城から先は一車線になり大渋滞、現地まで時間がかかりスノーシューで遊べたのは三時間ほどであったが、新雪の中を自由に歩く楽しさはまた格別で参加者はスノーシューの威力を再認識したと思います。

ただ残念だったのは時間がなく楽しみにしていた他の倶楽部との交流が出来なかったこと……。温泉もなくなったし……。ま、いいか今度はクリーンハイクで交流だ！スタッフのみなさんスノーシューやバスの手配、コースの選定とお疲れ様でした、そしてありがとうございました。来年はたっぷりと交流の時間がありますように願っています。





埼玉労山登山学校

第19期

生徒募集



埼玉労山では初級者登山学校を開校し、年間を通して登山の知識・技術を学べる場を設けます。安全に登山するためには学習が欠かせません。

基本的な知識や技術を学びたい！そして次へのステップを考えている方、是非受講してみませんか。

開校式とガイダンス

5月17日（土）14:00より

会場：浦和コミュニティーセンターパルコ10階

交通：JR京浜東北線浦和駅東口徒歩1分

日程表

1 計画から下山まで 机上：6月7日 実技：6月8日	2 登山と運動生理 机上：7月5日 実技：7月6日	3 山での救急法 机上：8月2日 実技：8月3日	4 地図の読み方 机上：9月6日 実技：9月7日
5 岩登り（初級） 机上：10月4日 実技：10月5日	6 天気の見方 机上：11月1日 実技：11月2日	7 総合学習登山 実技：12月6日 （泊）～12月7日	8 雪山入門 机上：1月10日 実技：1月11日

申込み

登山学校

検索



埼玉県勤労者山岳連盟登山学校